

私は、台湾の政治大学から来た 2021 年4月から 2022 年 3 月までの交換留学生チンカリンです。この一年は新型コロナウイルスのせいで、日本に入国できませんでしたが、いろいろな授業を受けて、さまざまなことを勉強できました。

オンライン授業は不便ですが、台湾と日本との時差は一時間だけなので、他の留学生と比べると、私の場合は本当に楽です。時差が大きいクラスメイトも頑張っていると考えると、たとえ自分がオンライン授業は辛くて、諦めたくても、他の留学生と一緒に頑張らないといけないと考えています。

日本の大学と台湾の大学は本当に違います。台湾の大学と比べると、お茶の水女子大学は少し厳しいので、最初の時はストレスが溜まっていました。

日本語もよく話せないし、授業の内容を聞き取れなかった部分もたくさんあって、課題から逃げたいと考えたことは何回もありました。実は、今でも授業の内容を全部聞き取れないですが、最初より、聞き取れるようになったので、少しずつでも、次第に上達したので、嬉しいです。

私は留学した後は、すぐに仕事を探したいので、この一年間はずっと、自分はどのような仕事がやりたいかと考えていました。留学の初めは全然わかりませんでした。しかし、授業を受けながら、日本と他の国の仕事環境をさらに理解して、次第に将来にや

りたいことがわかりました。この一年間は日本人と一緒に授業を受けたり、日本のニュースと歴史を勉強したりしまして、日本人の考え方を次第にわかるようになりました。最初は日本で働くことは少し怖くて、絶対無理だと思いましたが、現在は一人で日本で暮らして仕事することは自分にできると考えています。

最後は感謝の気持ちについてです。この一年日本人と一緒に授業を受講しました。母語者の話すスピードは私にとってちょっと早いので、聞き取れなかったところが多いです。そのため、グループのメンバーに迷惑をかけました。しかし、みんなは親切に説明してくれました。すごく感謝しています。そして、私の日本語能力が低いので、授業で自分の考えをはっきり説明できなかったことがたくさんありましたが、先生たちが優しく待って下さいました。誠にありがとうございました。最後は、指導教員の森山先生に感謝を表したいと思います。毎月先生が私の振り返りシートを読んでくださって、たくさんアドバイスをして下さいました。一年間入国できませんでしたが、先生方に大変お世話になりました。心から感謝の気持ちを申し上げます。